

単元名：

「My Future」

(全3時間扱い中 第1時)

授業日時 2021年7月8日(木) 第1校時

授業学級 2年B組

授業会場 2年B組教室

授業者

指導者

(1) 主眼(授業の手立て&ねらい)

ALTのOdy先生からの来期の予定や夏休み中の課題についての留守番電話にメールで返信を書く場面で、留守番電話の内容を聞き取って、返信すべき内容をまとめたり、教科書のモデル文を読んでメールの構成と、それに必要な表現を練習したりすることを通して、Ody先生からのメッセージの内容に沿って構成を整えてメールを書くことができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1, Ody先生のメッセージを聞いて、メールで返事を書くことを理解する。	「留守番電話のメッセージがあるんだな。」 「Ody先生、何のことについて話しているのかな。」 「なんて言っているのかな。」 「次の英語の授業についてかな。」 「メールで返事を書かなくてはいけ ないのか！」	Ody先生から、留守番電話が来ていることを伝える。 「What should we do next?」など問いかけ、Ody先生にメールで返信を書かなくてはならないことに気づかせる。 【録音音源】	10
	Today's Goal: Ody先生からの留守番電話を聞いて、内容に合った返信をメールで送ろう。			
展開	2, 留守番電話の内容を聞き取って返信すべき内容をまとめ、ワークシートに書き込む。	「夏休みの間に調べるのかな」 「なにについて調べるのかな」 「未来についてのトピックか」 「学校がはじまる日？」	メールを書くために、何を書かなければならないか、音源を繰り返し聞き、ワークシートの穴埋めなどを通して確認する。隣と少し話して確認する。 【ワークシート】	8
	3, モデル文を読んで構成とそれに必要な表現を練習する。	「メールには挨拶が必要なんだな。」 「導入はどんなことを書けばいいのかな。」 「このような言い方をするんだな。」	教科書のモデル文をリピートする メールの例文をスライドを使って見せ、挨拶や導入、終わりのあいさつなど、メール独特の表現に気づくよう促し、カードを黒板に貼る。 【スライド・カード】 メールの形式や、表現を確認し、正しく使えているかを確認する。	7
	4, 実際にGoogleクラスルームを使って、メールを書いてみる。	「挨拶を書いて、導入を書いて、..」 「自分の将来について今の考えか。」	メールの形式に沿って、メッセージで聞いた、Ody先生からの質問に答えるメールを書く。 【google class room, chrome book】	13
	【本時の評価(グーグルドキュメント)】 受け手を意識し、メールの形式に沿って、音声で質問されていた、学校が始まる日にち、自分の今の将来の仕事についての写真、連絡を理解したということについての記述がされているか。			7

終末	5. 本時の振り返りを行う。	「メールの構成がわかったな。」 「次メールをかく機会があれば、今日の表現をつかえるといいな。」	本時の today' s goal を振り返り、メールの形式がどのようなものであったか、形式に沿って自分の内容を伝えることができたか、という視点で振り返るよう伝える。	5